

# 新世代のがん分子標的療法 開発戦略シンポジウム

**日時** 2014  
平成26年

**12/6** [土] 12:30~受付開始  
**13:00~18:50**

終了後、19:00より懇親会を予定しています。

**場所** 国立京都国際会館 大会議場

〒606-0001 京都市左京区岩倉大鷲町422番地  
[www.icckyo.or.jp/](http://www.icckyo.or.jp/)

日本の産学連携を含めた創薬能力は決して他国に劣っていません。しかしながら、国家戦略として、その能力を十分に生かし切れているかという点については課題が残ります。そこで今回、国際的に評価されるがん分子標的薬の研究・開発に貢献した我が国を代表する研究者に講演いただくとともに、新世代のがんの研究・診療に関する講演等を含めたシンポジウムを企画いたしました。

とりわけ、わが国アカデミアで過去10年の間に生まれた抗がん分子標的薬4大発明は、がんの診療に大革命を起こしつつあります。わが国のライフサイエンス・イノベーションを担うアカデミアの責任と使命を深く噛み締めて、ここに諸兄弟のご参加を賜りたくご案内する次第です。

シンポジウム  
世話人代表・実行委員長  
京都府立医科大学 学長

吉川 敏一

**主催** 新世代のがん分子標的療法開発戦略シンポジウム実行委員会  
京都府公立大学法人京都府立医科大学

**共催** 独立行政法人国立がん研究センター  
一般社団法人ARO協議会  
公益財団法人先端医療振興財団

**後援** 文部科学省、厚生労働省、日本医師会、京都府  
NPO 法人キャンサーネットジャパン

**入場無料**

(先着700名)

※事前参加申し込み不要

**kpum2014.umin.jp**

※懇親会への参加は有料(3,000円)となります。当日申し込み先着400名

# 新世代のがん分子標的療法 開発戦略シンポジウム

日時 平成26年 12/6 [土] 13:00~18:50 場所 国立京都国際会館 大会議場

## ■プログラム

時間	内容
13:00~13:15	主催者挨拶・主旨説明 京都府立医科大学 学長 <b>吉川 敏一</b> ご挨拶 慶應義塾大学 医学部長 <b>末松 誠</b> 先生
13:15~14:00	基調講演 「医療の研究開発に関する新しい体制」 内閣官房健康・医療戦略室 次長 <b>菱山 豊</b> 先生
<b>第1部 新世代のがん診療体制の構築～がん治療を目指して</b>	
14:00~15:00	座長: 愛知医科大学医学部 腫瘍免疫寄附講座 教授 <b>上田 龍三</b> 先生 (各先生方30分の講演) 「変革期にあるがん医療とがん研究」 独立行政法人国立がん研究センター 理事長 <b>堀田 知光</b> 先生 「世界最先端のがん分子標的治療薬開発を目指して: 研究の最前線と開発基盤構築」 独立行政法人国立がん研究センター東病院 臨床開発センター長/早期・探索臨床研究センター長 <b>大津 敦</b> 先生
15:00~15:15	休憩
<b>第2部 がん領域における日本アカデミアからのイノベーション創出が拓く医学・医療革命</b>	
15:15~17:15	座長: 独立行政法人国立がん研究センター 理事長 <b>堀田 知光</b> 先生 (各先生方30分の講演) 「本質的ながん原因解明が可能にする革新的ながん分子標的療法」 東京大学大学院医学系研究科 細胞情報学分野 教授 <b>間野 博行</b> 先生 「我が国初の抗がん抗体薬の開発経験」 愛知医科大学医学部 腫瘍免疫寄附講座 教授 <b>上田 龍三</b> 先生 「RB 再活性化スクリーニングを用いた新規 MEK 阻害剤 trametinib (商品名 Mekinist) の発見」 京都府立医科大学大学院医学研究科 分子標的癌予防医学 教授 <b>酒井 敏行</b> 先生 「PD-1 抗体によるがん治療」 京都大学大学院医学研究科 免疫ゲノム医学寄附講座 教授 <b>本庶 佑</b> 先生
17:15~17:30	休憩
<b>第3部 パネルディスカッション“ジャパン・キャンサーリサーチ・プロジェクトへの期待”</b>	
17:30~18:40	座長: 九州大学大学院医学研究院 呼吸器内科学分野 教授/附属胸部疾患研究施設 施設長/九州大学病院 ARO次世代医療センター センター長 <b>中西 洋一</b> 先生 公益財団法人先端医療振興財団 臨床研究情報センター センター長 兼 研究事業統括/京都大学名誉教授 <b>福島 雅典</b> 先生 パネラー <b>間野 博行</b> 先生 <b>上田 龍三</b> 先生 <b>酒井 敏行</b> 先生 <b>本庶 佑</b> 先生 ディスカッションリーダー: 公益財団法人がん研究会 常務理事/がん研究所所長 <b>野田 哲生</b> 先生 指定発言: 独立行政法人医薬基盤研究所 理事/創薬支援戦略室長 <b>榎林 陽一</b> 先生 パネルディスカッションテーマ ① アカデミア発イノベーション創出の為の基礎研究力強化について ② 今後取るべき開発戦略
18:40~18:50	まとめ
	閉会の辞
19:00~	懇親会 ※懇親会への参加は有料(3,000円)となります。(当日申し込み先着400名)

※プログラムの内容は予告なく変更される可能性があります。

## ■アカデミア分子標的薬・抗体医薬 開発状況一覧

As of Oct. 20, 2014

一般名	クリゾチニブ	モガムリズマブ	トラメチニブ	ニボルマブ
開発者	<b>間野 博行</b>	<b>上田 龍三</b>	<b>酒井 敏行</b>	<b>本庶 佑</b>
所属大学	東京大学	愛知医科大学	京都府立医科大学	京都大学
販売名	ザーコリ	ボテリジオ	Mekinist(国内未上市)	オブジーボ
対象疾患	EML4-ALK変異遺伝子を持つ非小細胞肺癌	再発または難治性のCCR4陽性の成人T細胞白血病リンパ腫(ATL)および末梢性・皮膚T細胞リンパ腫(PTCL・CTCL)	BRAF V600EまたはV600K遺伝子変異陽性の切除不能または転移性メラノーマ	非小細胞肺癌、メラノーマ、腎細胞癌の他ほとんどすべてのがん腫
薬理作用	EML4-ALK遺伝子のうち、ALKを選択的に阻害	がん細胞のCCR4分子と抗体が特異的に結合し、NK細胞を引き寄せてATL細胞を破壊	細胞増殖シグナル伝達経路に存在するリン酸化酵素MEKの阻害	リンパ球活性化シグナル伝達経路の脱リン酸化による抑制の阻害(抗PD-1抗体)
開発着手年	2007年	1999年(作成は1996年から。2004年強活性抗CCR4抗体)	2001年	1992年